

事前セットアップガイド

Cursor基礎講座 2026年10月23日（金）

当日使う2つの画面と役割分担

Cursorのデスクトップアプリ

つくる

Azure Virtual Desktopに入れたCursorで、配布フォルダのコードを開きます。補完やチャット、エージェントへの依頼は、すべてこのアプリの中で行います。

ブラウザのcursor.com

管理する

アカウントの作成とプランの契約に使います。研修中は、利用状況を確認めるときに開きます。

当日選ぶモデルの名前は、**研修トップのツールと役割分担**の1か所だけに書いています。開催までにモデルの名前が変わっても、そこだけ直せば済みます。

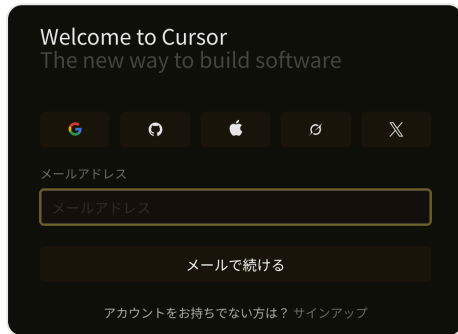
Googleアカウント連携は使わないでください。アカウントの作成に使うのは、会社のメールアドレスです。アイネス様のGoogleアカウントで連携すると、サインインが社内のシングルサインオン認証を通ります。その結果、許可された端末からしか使えなくなると伺っています。

所要時間は20分ほどです。Step 1からStep 7までを、研修当日の前日までに済ませてください。

Step 1 アカウントの作成

STEP 1 会社のメールアドレスで作ったアカウント

Cursorを使うには、Cursorのアカウントが必要です。研修用のアカウントは、会社のメールアドレスだけで作成します。



上段のアイコンのボタンはGoogleやGitHubとの連携用なので押しません。初めて作る方は、下の **サインアップ** から進みます。

- 1 ブラウザで <https://cursor.com/dashboard> を開いてください。サインイン画面が表示されます。
- 2 画面の下にある **アカウントをお持ちでない方は? サインアップ** の **サインアップ** を押してください。
- 3 メールアドレスの欄に会社のメールアドレスを入れて、画面の案内に沿って進めてください。
- 4 入力したメールアドレスに確認のメールが届きます。メールの案内に沿って確認を済ませてください。
- 5 電話番号の確認を求められた場合は、画面の案内に沿って認証コードを入力してください。

Tips: 業務でCursorのアカウントをすでに使っている方は、研修用のアカウントをどう用意するか、研修事務局の案内を確かめてから進めてください。同じメールアドレスでは、新しいアカウントを作れないことがあります。

確認チェック

- ☐ ブラウザで <https://cursor.com/dashboard> を開くと、左のメニューに **Overview** が表示される
- ☐ サインインに使ったのが、Googleのボタンではなく会社のメールアドレスである

Step 2 有料プランの用意

STEP 2 研修事務局が案内した有料プランの契約

無料のHobbyプランは、エージェントへの依頼の回数に上限があります。4時間の演習では途中で上限に達して先へ進めなくなるため、有料プランを用意してください。

契約するプランは、研修事務局の案内に従ってください。 個人で契約する場合は「個人」のPro、会社で契約する場合はTeamsになります。

Hobby いろいろ試したい人向け	個人 エージェントを試してみたい人向け	Teams 一緒にリリースするチーム向け
Free	\$20 /mo. Pro Pro+ Ultra	\$40 /user/mo. Standard Premium
含まれる内容: ✓ クレジットカード不要 ✓ 制限付きのエージェントリクエスト ✓ Composer へのアクセス	Hobbyの内容に加えて: ✓ エージェントの利用上限を拡張 ✓ Grokの充実した利用上限 ✓ フロンティアモデルへのアクセス ✓ Grok Bot へのアクセス ✓ MCP、スキル、フック ✓ クラウドエージェント ✓ 従量課金制のBugbot	個人 のすべての機能に加えて、以下も含まれます: ✓ 一元化されたチームの請求と管理 ✓ 社内ルール、スキル、プラグインのためのチームマーケットプレイス ✓ 共有チームコンテキストを備えたクラウドエージェントと自動化機能 ✓ Grok Bot へのアクセス

個人で契約する場合は、中央左の「個人」でProが選ばれていることを確かめます。表示の金額は税抜きです。

- 1 研修事務局からの案内で、個人のProとTeamsのどちらを使うかを確認してください。
- 2 個人のProの場合は、 <https://cursor.com/pricing> を開き、「個人」の欄で **Pro** が選ばれていることを確かめてから **Proを始める** を押してください。支払いの画面が表示されます。
- 3 Teamsの場合は、チームの管理者から届く招待のメールを開き、案内に沿ってチームに参加してください。

確認チェック

☐ 研修事務局が案内したプランの契約か、チームへの参加が済んでいる

Step 3 Cursorのインストール

STEP 3 Azure Virtual Desktopに入ったCursor

研修当日は、Azure Virtual Desktopの中で動くCursorを使います。Cursorのデスクトップアプリを、研修で使う仮想デスクトップにインストールしてください。

Desktop

An agent-first experience, with all the best parts of the editor for when you need them.

Download for Windows ↓

Windowsでダウンロード画面を開くと、Desktopの欄に **Download for Windows** が表示されます。このボタンでも、下の一覧からでもダウンロードできます。

Windows

Windows (x64) (System)	↓
Windows (x64) (User)	↓
Windows (ARM64) (System)	↓
Windows (ARM64) (User)	↓

同じページの下に、Windows向けのインストーラが4種類並びます。 **Windows (x64) (User)** を選んでください。

- 1 Azure Virtual Desktopにサインインし、仮想デスクトップの中のブラウザで <https://cursor.com/download> を開いてください。
- 2 Windowsの一覧にある **Windows (x64) (User)** を押してください。ファイル名が CursorUserSetup-x64 で始まるインストーラがダウンロードされます。
- 3 ダウンロードしたインストーラを開き、画面の案内に沿ってインストールを進めてください。
- 4 インストールが終わったら、スタートメニューからCursorを起動してください。

Tips : 起動しても画面が白いまま変わらない場合は、スタートメニューのCursorを右クリックし、 **管理者として実行** を選んでください。Cursorの公式ヘルプが案内している対処です。

確認チェック

- ☐ Azure Virtual Desktopのスタートメニューに、Cursorが表示される
- ☐ Cursorを起動すると、Cursorのウィンドウが開く

Step 4 アプリへのサインイン

STEP 4 Step 1のアカウントでサインインしたCursor

インストールしたCursorに、Step 1で作ったアカウントでサインインします。サインインはブラウザの画面で行い、終わるとアプリに反映されます。

- 1 Cursorの画面で **Log In** を押してください。ブラウザに **Sign in to Cursor desktop** の画面が開きます。
- 2 ブラウザでStep 1のアカウントにサインインしていない場合は、会社のメールアドレスでサインインしてください。Googleのボタンは押しません。
- 3 ブラウザの **Sign in** を押してください。
- 4 ブラウザに **All set! Feel free to return to Cursor.** と表示されたら、Cursorの画面に戻ってください。

Tips : ブラウザに完了の表示が出ても、Cursorが **Log In** の画面のまま変わらないことがあります。社内のネットワークで、Cursorの通信先が許可されていない場合に起きます。研修事務局に、画面の状態を添えて連絡してください。

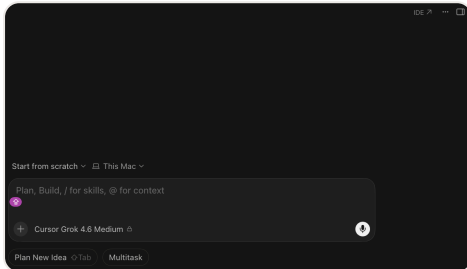
確認チェック

- ☐ Cursorの画面の左下に、会社のメールアドレスが表示される

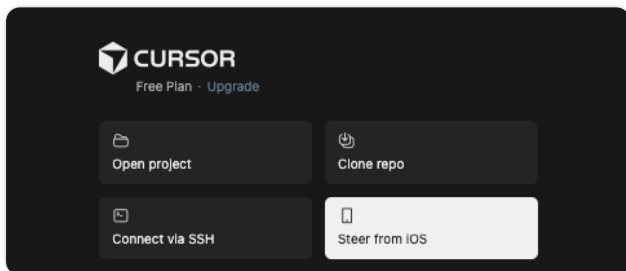
Step 5 エディタの画面と動作確認

STEP 5 エディタの画面で返事が表示されたCursor

Cursorを起動すると、エージェントに作業を頼むための画面が開くことがあります。研修では、ファイルの中身を見ながら作業できるエディタの画面を使います。



エージェント用の画面が開いたら、右上の **IDE** を押します。画面はMac版で撮影したもので、Windows版ではウィンドウの枠の形が異なります。



エディタの画面が開くと、**Open project** などのボタンが表示されます。研修当日は **Open project** から配布フォルダを開きます。

- 1 エージェント用の画面が開いた場合は、右上の **IDE** を押してください。エディタの画面が開きます。
- 2 エディタの画面で Ctrl キーを押しながら L キーを押してください。右側に入力欄のあるパネルが開きます。
- 3 入力欄に次の1文を貼り付けて、Enter キーで送信してください。

こんにちは。あなたのモデル名を1行で教えてください。

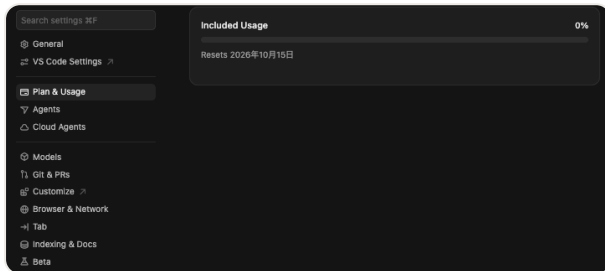
確認チェック

- ☐ 送信した文の下に、Cursorからの返事が表示される
- ☐ エディタの画面とエージェント用の画面を、**IDE** のボタンで行き来できる

Step 6 利用状況の画面

STEP 6 利用状況の画面の場所

研修の最初と最後にこの画面を開き、4時間でどれだけ使ったかを確認めます。当日すぐ開けるように、場所を1回確かめておいてください。



左のメニューで **Plan & Usage** を押すと、**Included Usage** の欄に、契約に含まれる利用枠のうち何%を使ったかが表示されます。画面は無料プランのアカウントの例です。

- 1 Cursorの画面で Ctrl キーと Shift キーを押しながら J キーを押してください。
Cursor Settings が開きます。
- 2 左のメニューの **Plan & Usage** を押してください。
- 3 **Included Usage** に表示されている割合と、リセットされる日付を確認してください。

Tips : ブラウザで <https://cursor.com/dashboard> を開いても、**Overview** で同じ使用率を確認られます。

確認チェック

- ☐ **Plan & Usage** に、契約したプランの **Included Usage** が表示される

Step 7 配布フォルダの展開

STEP 7 デスクトップに展開した配布フォルダ

演習で使う架空企業のコードとデータを、ZIPにまとめて配ります。研修トップの**配布物**の欄にも同じZIPがあります。

- 1 Azure Virtual Desktopの中のブラウザでこのページを開き、**1023_cursor.zip**をダウンロードしてください。Macで試す方は**1023_cursor Mac.zip**を使います。
- 2 ZIPを右クリックして **すべて展開** を選び、展開先にデスクトップを指定して **展開** を押してください。
- 3 Cursorのエディタの画面で **Open project** を押し、展開した 1023_cursor の中の inventory-app を選んでください。

ファイル名が読めない文字になっていたら 展開し直さなくても直せます。展開したフォルダをCursorで開いた状態で、エージェントの入力欄に次の1文を貼り付けて送信してください。

このフォルダの文字化けしたファイル名をすべて元の日本語に直して

エージェントがフォルダの中を調べて、ファイル名を元の日本語に戻します。それでも直らないときは、研修の開始前に講師までお知らせください。

最終確認

CHECK

研修前日までにそろえる7項目

- ☐ 会社のメールアドレスでCursorのアカウントを作った（ [Step 1](#) ）
- ☐ 研修事務局が案内した有料プランを用意した（ [Step 2](#) ）
- ☐ Azure Virtual DesktopにCursorを入れ、起動できた（ [Step 3](#) ）
- ☐ Cursorの左下に会社のメールアドレスが表示された（ [Step 4](#) ）
- ☐ エディタの画面で質問を送り、返事が表示された（ [Step 5](#) ）
- ☐ Plan & Usageで利用状況を確認された（ [Step 6](#) ）
- ☐ 配布フォルダを展開し、Cursorで `inventory-app` を開けた（ [Step 7](#) ）

よくある質問

Windows向けのインストーラが4種類あり、どれを選べばよいかわかりません

Windows (x64) (User) を選んでください。ARM64は、ARM系のプロセッサを積んだ端末向けのインストーラです。

Cursorの画面を日本語の表示にできますか

メニューの一部は、日本語の言語パックを入れると日本語になります。エージェント用の画面やCursor Settingsは英語のまま表示されます。このガイドと当日の手順は英語の表記で書いているので、英語の表示のままで進めてください。

Googleのボタンでサインインしてしまいました

そのままでは、許可された端末以外からサインインできなくなる場合があります。研修事務局に連絡し、会社のメールアドレスで作り直すかどうかの案内を受けてください。

ブラウザでサインインが終わったのに、CursorがLog Inの画面のままです

社内のネットワークで、Cursorの通信先が許可されていないと起きます。Cursorを一度終了して起動し直し、それでも変わらない場合は、研修事務局に画面の状態を添えて連絡してください。



© Givery, Inc. All rights reserved.

※本教材の演習に登場する企業・人物・数値はすべて架空です。実在の企業・団体・個人とは一切関係ありません。